

1.技 術	1.3 生物処理による下廃水の処理
2.事 業 名	1.3.27 MBR 設備における省エネルギー化技術の開発(H29)
3.キーワード	MBR、省エネルギー、下水処理
4.目的	本事業は、省エネ型曝気方法を実機レベルで実証することにより、MBR 予測シミュレータを活用した省エネ型 MBR 運転管理システムの開発を意図して、平成 28 年度から 3 か年計画で行っているものである(実証場所、ウォータープラザ北九州)。
5.内容、成果	<p>MBR 設備の省エネ方法として間欠ばっ気を提案し、平成 28 年度はその可能性を示した。</p> <p>平成 29 年度は、新規省エネ型膜モジュールに変更してデータ収集を行い、CFD 解析を用いて膜間差圧の時間変動を計算するモデルを構築した。また運転管理の効率化を図るため、MBR 予測シミュレータの適用可能性評価を行い、予測精度の高い方式を選定した。</p>
6.参照	本事業は、北九州市の助成事業として本財団を研究代表者に、(株)安川電機、(株)ケイ・イー・エス、北九州市立大学、東京大学との共同受託事業